



箱根ジオパークとは

Hakone Geopark

ジオパークとは地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。ユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されています。

箱根火山は、世界的に見てもたいへん有名な火山です。豊かな自然と密接した歴史があることから、まさにジオパークに相応しい地域と言えます。

この地域は、伊豆・小笠原弧が本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとする※フォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみちに位置します。



北と南をつなぐ自然のみち



東と西をつなぐ歴史のみち



日本の歴史を形作ってきた足柄道や東海道は、東西を結ぶ大動脈です。そして、戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の摩擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

箱根ジオパークを歩こう

金太郎伝説をたどるコース

- 03 コース案内
- 04 箱根火山の自然と歴史のあゆみ
- 06 コースマップ
- 08 南足柄市の成り立ち
- 09 ① 足柄万葉公園／② 足柄明神
- 10 ③ 足柄峠（足柄城址）
- 11 ④ 足柄古道／⑤ 地藏堂
- 12 ⑥ 金太郎遊び石／蛤沢周辺
- 13 ⑦ 足柄層の露頭／⑧ 夕日の滝
- 14 本コースに含まれない他のジオサイト
- 15 立ち寄りスポット

ぶらっと箱根ジオパーク



コース案内

箱根火山は、約40万年前から活動を始めましたが、それ以前は伊豆半島の基になった火山島の一部でした。それがプレートの活動により北上し、およそ100万年前に本州に衝突しました。現在の南足柄市がある地域は、かつて海だった場所であり、伊豆半島と本州の間の海に堆積した地層である「足柄層群」が、プレートの圧力により隆起し、陸地になりました。その後活動を始めた箱根火山や富士火山の噴出物が、その上を覆っています。

2016年に南足柄市が箱根ジオパークへ編入したことにより、箱根火山の活動より古い地層である、足柄層群が観察できる地藏堂地区などのジオサイトが新たに加わりました。

このコースは、プレートや火山の活動によるダイナミックな大地の動きを体感できるだけでなく、東海道よりも古くからの官道であった「足柄道」や、小田原北条氏の支城があった「足柄峠」、そして現代まで伝わる金太郎伝説といった歴史や文化を学ぶこともできます。

※日本の主要な地溝帯の一つで、地質学においては東北日本と西南日本の境目となる地帯。



南郷山からのパノラマ

幕山の梅林と柱状節理

ミツ石海岸

千条の滝

番場浦海岸の採石跡

箱根関所

箱根火山の自然と歴史のあゆみ

400 万年 前頃	250 〜 100 万年 前頃	115 万年 前頃	100 万年 前頃	40 〜 35 万年 前頃	35 〜 27 万年 前頃	27 〜 23 万年 前頃	23 〜 13 万年 前頃	13 〜 8 万年 前頃	6.6 万年 前頃	6 万年 前頃	4 万年 前頃	5500 年 前頃	3000 年 前頃	2900 年 前頃	2000 年 前頃	757 年 (天平 宝字元 年)	759 年 (天平 宝字3 年)	平安 期 (詳細 不明)	940 年 (天慶 3年)	1180 年 (治承 4年)	1300 年 (正安 2年)	1394 年 (応永 元年)	1417 年 (応永 24年)	1496 年 (明応 5年) 〜 1504 年 (永正 元年)	1590 年 (天正 18年)	1600 年 初頭	1619 年 (元和 5年)	1680 年 (延宝 8年)	1707 年 (宝永 4年)	1726 年 (享保 11年)	1887 年 (明治 20年)	1888 年 (明治 21年)	1900 年 (明治 33年)	1904 年 (明治 37年)	1923 年 (大正 12年)	1925 年 (大正 14年)	1934 年 (昭和 9年)	2012 年	2201 年	2401 年	2501 年	2016 年
-----------------	-----------------------------	-----------------	-----------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	-----------------	---------------	---------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	---	--------------------------	-----------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

● 南足柄市が箱根ジオパークに編入

● 大涌谷で小規模な水蒸気噴火

● 箱根ジオミュージアム開館

● 箱根ジオパーク誕生

● 丹那トンネル開通で東海道線湯河原へ

● 大雄山線開通

● 関東大震災

● 宮ノ下〜芦之湯〜箱根町間 車道開通

● 国府津〜箱根湯本間に電車開通（小田原電気鉄道）

● 国府津〜箱根湯本間に馬車鉄道開通

● 新橋〜国府津間鉄道開通

● ドイツ人医師ベルツ、大涌谷に温泉治療所の建設を提案

● 塔之沢〜宮ノ下間車道開通

● 田中丘隅、酒匂川の治水を行う、堤に文命宮（現福澤神社）創建

● 富士山噴火

● 東海道「箱根八里」に石畳が敷かれる

● 箱根関所開設

● 早川石丁場群で採石

● 大久保忠世、小田原城主となる 小田原城改修

● 豊臣秀吉 小田原攻め 石垣山一夜城築城

● 北条早雲、小田原攻め 小田原城を支配下に置く

● 大森氏が小田原周辺を領地とする

● 大雄山最乗寺 創建

● 精進池畔の磨崖仏・六道地蔵の開眼供養

● 源頼朝、石橋山の合戦で敗れる

● 足柄峠に足柄明神社創建

● 御嶽神社創建

● 万葉集編纂 足柄にかかわる短歌・長歌が18首掲載

● 箱根神社創建

● 神山水蒸気爆発

● 箱根火山最後の大規模噴火、冠ヶ岳の形成

● 富士山で岩屑なだれ発生、泥流が足柄平野まで流れる

● 神山山体崩壊、芦ノ湖誕生

● 羽根尾貝塚の形成

● 後期中央火口丘の形成と仙石原湖誕生

● 先神山の形成

● 東京軽石をもたらした爆発的噴火

● 鷹巣山溶岩、屏風山溶岩などの前期中央火口丘の形成

● カルデラと外輪山の形成、大規模噴火と真鶴溶岩、幕山溶岩などの噴出

● 明神ヶ岳、米神溶岩などの箱根成層火山群、独立単成火山群の形成

● 金時山、明星ヶ岳などの箱根成層火山群の形成

● 箱根火山の活動のはじまり（天昭山溶岩、狩川溶岩など）

● 伊豆半島衝突

● 矢倉岳のもととなるマグマが貫入

● 足柄層群堆積

● 箱根火山の基盤岩（早川凝灰角礫岩）の形成

●印はこのガイドブックのコースで見ることができます



早川石丁場群



カツラゴ海岸の真鶴溶岩

夕日の滝

湯河原火山噴出物がつくる不動滝

小田原城

飛龍の滝

矢倉岳

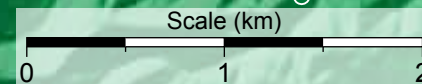


金時山

- [illegible]

所要時間
4~5時間

Scale (km)



1 南足柄市の成り立ち — 伊豆の衝突 —

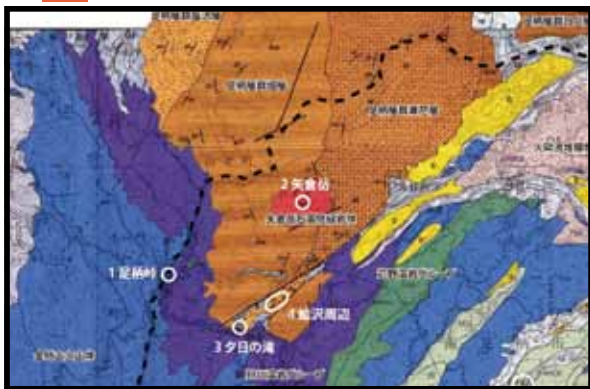
地球の表面は、十数枚のプレートと呼ばれる岩盤からできていて、それぞれが別々の方向に少しずつ動いています。これらが衝突し、隆起することにより山ができたり、一方が沈み込むことで海溝ができるといった大地の変動が起きます。

箱根ジオパークのエリアは、伊豆半島の基になった火山島の一部として、現在よりも南の海にありました。この火山島は伊豆地塊と呼ばれ、フィリピン海プレートの活動により、少しずつ北に動いていました。今から200万年ほど前には本州に近付き、伊豆と本州の間には陸地から流れこんだ礫や砂、泥などが堆積して、足柄層群と呼ばれる地層ができました。海が堆積物によって埋め立てられたために、およそ100万年前には本州と伊豆が地続きになりました。その後もプレートの運動によってこの地域は隆起し、足柄山地が誕生しました。

ジオサイトMi4「蛤沢周辺」は地蔵堂地区の山中で、かつて海だった場所が隆起したことにより、ハマグリなどの化石が見つかった場所です。

また、「矢倉岳」は、およそ115万年前に足柄層群の中へ貫入したマグマが噴火せず、地下で冷え固まってできた深成岩で、プレートの運動により隆起し、浸食されたことにより現在の形になりました。

2 箱根火山の活動 — 足柄層群の隆起 —



地質図は日本地質学会国立公園地質リーフレット「箱根火山」を引用、加筆

箱根火山は約40万年前から活動を始め、足柄層群の上を溶岩や火山灰などの火山噴出物が覆いました。地蔵堂地区周辺では、およそ40万年から30万年前に噴出した金時山を構成している溶岩(金時山溶岩)や、さらに金時山の下にある溶岩(狩川溶岩)といった、箱根火山でも比較的古い溶岩が観察できます。

1-1 足柄万葉公園

大雄山駅から箱根登山バス「足柄万葉公園」行きに乗車します。運行は4月、5月、10月、11月のみです。それ以外は地蔵堂止まりです。

万葉公園は、万葉集に「足柄」に関わる歌が、18首あることから、万葉集を解説する歌碑を設置しています。東国から「防人」(九州の防衛のために派遣された人)として西国に向かう際に、東西の境界である足柄峠で故郷や家族との別れを詠んだ歌の碑が多くあります。

1-2 足柄万葉公園からの眺め

バスの折り返し所付近から見ると、東側にジオサイトMi2「矢倉岳」が望めます。

矢倉岳の山頂は、深成岩という硬い岩でできています。約115万年前、海底に堆積していた足柄層群内に貫入したマグマが噴火せず、冷え固まったものです。

その後、プレートの運動によって隆起し浸食されたことで現在の矢倉岳の形になりました。

地下深くにてゆっくり冷え固まる深成岩としては極めて若く、約115万年前で現在の標高870mまで隆起している例は、世界的にも非常にまれです。それだけこの地域のプレート運動が激しかったことを物語っています。

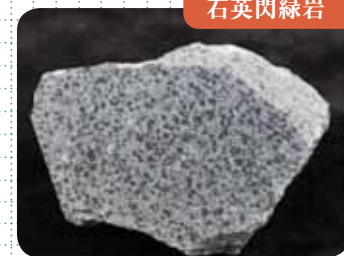
万葉公園からは矢倉岳に登ることができます。途中の登山道に巨大な岩石が見えますが、これは狩川溶岩と呼ばれる約40万年前の箱根火山の溶岩です。近くの足柄峠は約35万年前の金時山溶岩に覆われていますが、より標高が高いところに古い時代の溶岩があるのは、プレートの運動によりこの辺り一帯が隆起しているからです。



万葉公園



足柄万葉公園からの眺め



石英閃緑岩

※矢倉岳の深成岩はごま塩のような模様が特徴で、石英閃緑岩と呼ばれています。



狩川溶岩

2-1 足柄明神

古事記には、日本武尊が東征の際に、白い鹿に姿を変えた「坂の神・足柄明神」を倒した故事が伝えられています。また道中で妻の弟 橘姫を亡くしたことから、この地で妻をしのび「吾妻はや！」（我妻よ！）と叫んだことが「あずま（東）の語源になったと伝わっています。

このあたりは北条氏の支城である足柄城の一部で、明神曲輪と呼ばれます。入り口の鳥居の近くでは、1707年の富士火山の宝永噴火によって飛ばされてきたスコリアを見ることができます。

2-2 足柄明神からの眺め

南側には箱根火山の外輪山である明神ヶ岳と金時山が見え、その奥に中央火口丘にある大涌谷の噴気を見ることができます。東側には矢倉岳、その先に大磯丘陵や相模湾を望めます。東側にはジオサイトMi2「矢倉岳」、遠くの足柄平野の先には相模湾や、大磯丘陵を望むことができます。その辺りが、北米プレートとフィリピン海プレートの2つの境界であり、国府津－松田断層があるとされています。

3-1 足柄峠（足柄城址）ジオサイト Mi 1

北条氏の支城の一つだった足柄城があった場所で、武田、豊臣の防衛の要衝でした。豊臣の小田原攻めの際には、徳川軍の攻撃を受け、戦わずして放棄されました。

下の駐車場にある笛吹塚は、平安時代、笙の名人、源義光（新羅三郎義光）が戦に向かう途中、豊原時秋に笙の秘曲を伝授したと伝わる場所です。

3-2 足柄峠からの眺め

富士山が裾野までよく見え、愛鷹山、箱根火山と続く山々の比較ができます。

左手には箱根外輪山の一つである金時山（1212m）が見えます。金時山はこの足柄峠から尾根でつながっており、ここを経由して金時山登山を楽しむ人が多く見られます。

4 足柄道（足柄古道）ジオサイト Mi 1

足柄峠のトイレがある広場の向かい側から、足柄古道に入ります。

つづら折りの県道を突き抜ける形で、一部石畳みが残っています。東海道よりも古くから「官道」として使われていました。「更科日記」には作者「菅原孝標女」が京都に帰る際に通った足柄山の描写があります。

平安時代の初期の富士火山噴火により通行不能となり、一時的に箱根路が利用されました。

箱根路は鎌倉時代以降、「湯坂路」として利用されるようになりました。

江戸時代以降は、一般的に東海道が利用され、足柄道は主に物資の運搬に使われました。足柄道の方が勾配は緩やかです。矢倉沢に関所がありますが、箱根関所と違いそれほど厳しくありません。

足柄道は時代によりルートが変わり、江戸時代以降は一部が矢倉沢往還として使われ、富士講、大山講などの参拝客で賑わいました。

5 地藏堂

地藏堂には、足柄地藏尊が祀られています。ご本尊は南北朝時代の製作と言われる木造地藏菩薩立像で、入母屋作りの厨子と共に県の有形文化財に指定されています。秘仏でご開帳は60年に一度です。

● 万葉うどん

ちよっと寄り道

■ 夕日の滝近くの湧水を浄水し、こね上げた麺と、自然の素材を贅沢に使った旨いだしでいただく手打ちうどんは絶品です。

足柄古道

地藏堂

万葉うどん

金太郎遊び石



歌川芳虎 坂田金時



所蔵 南足柄市郷土資料館

ハマグリ化石



6-1 金太郎遊び石

地蔵堂には金太郎伝説があり、近くに生家跡があります。この家の主、四万長者の娘「八重桐」が嫁ぎ先から戻って、金太郎を生み、夕日の滝で産湯をつかったと言われています。金太郎は成人した後に、足柄峠を通った源頼光に力量を認められ家来になります。坂田金時と改名して京へ上り、頼光の四天王の一人となって酒吞童子を退治しました。

生家跡そばに金太郎が投げたと伝わる遊び石があります。遊び石を観察すると、ゴツゴツした礫が混ざっているのが分かります。これは凝灰岩と呼ばれ、大小の礫が火山灰などと一緒に固まってできたものです。夕日の滝の上流部でも同様の石が見られ、箱根火山の火山噴出物が固まってできた地層の一部が運ばれ、残されたものだと考えられます。

金太郎伝説はここ南足柄市だけでなく。静岡県小山町や全国のいくつかの場所にもあります。

6-2 蛤沢周辺 ジオサイト Mi 4

ジオサイトMi4「蛤沢周辺」の解説板が設置してあります。昔、この周辺でハマグリなどの化石が見つかり、蛤沢と呼ばれてきました。

江戸時代に書かれた「新編相模風土記稿」には、地蔵堂の産品として「石蛤」の名で紹介されています。

このハマグリ化石は現在のハマグリと同種のものと言われています。

● 金太郎の遊び石休憩所

■ 地域の住民が「金太郎の力水」で淹れたお茶やコーヒーの他、地元の特産品を販売しています。営業時期は限定で冬季はお休みです。

ちよっと寄り道

7 足柄層群の露頭

キャンプ場の駐車場の近くに、足柄層群の露頭がありますが、プレートの運動により隆起したことで、地層が垂直になっているのが分かります。

また、岩石が玉ねぎのように同心円状に風化していく「玉ねぎ状構造」が観察できます。

8 夕日の滝 ジオサイト Mi 3

ジオサイトMi3「夕日の滝」酒匂川の支流、内川の上流部にかかる滝です。

● 滝の成り立ち

- ① 堆積岩である足柄層群の上に、箱根火山の溶岩や火山灰などが堆積しました。
- ② 夕日の滝断層が東西に走り、下流部である北側が隆起しました。
- ③ 下流部のやわらかい足柄層群が浸食され、滝が形成されました。

滝の向こう側が箱根火山堆積物（硬い）、手前側が足柄層群（やわらかい）です。

夏は水遊びなどの親子連れで賑わい、冬季には凍結し、多くのカメラマンが訪れます。

1月中旬の昼過ぎ頃に、滝口の上を太陽が通り過ぎ、あたかも夕日が滝に落ちたように見えます。また、金太郎が産湯をつかったという伝説が伝わります。

帰路は、「地蔵堂」バス停から箱根登山バス「関本」行きに乗車します。

● 金太郎の力水

■ 赤い橋を渡った左側、金太郎の歌碑の横にある水飲み場です。この水は夕日の滝近くの湧水を浄水し、利用したものです。

ちよっと寄り道

足柄層群の露頭



夕日の滝



文命堤



大雄山最乗寺



清左衛門地獄池



御嶽神社と矢佐芝石丁場



本コースに含まれない他のジオサイト

○文命堤 (Mi5)

この周辺の崖は、約6万6千年前に大噴火した箱根火山の火砕流が堆積した大地を、酒匂川が浸食したことでできました。また、川の氾濫を防ぐため周囲の崖に流れを当て、勢いを弱める構造になっています。

○最乗寺と杉林 (Mi6)

箱根外輪山である明神ヶ岳の中腹に立つ曹洞宗の古刹です。開山は了庵慧明禅師であり、寺の造営に深く関わった道了は天狗となって寺を守っていると伝わっています。境内には約17万本もの杉が植林されています。

○清左衛門地獄池 (Mi7)

箱根外輪山を水源として、一日に1万3千トンもの湧水量を持つ泉です。

昔、加藤清左衛門が水源を探しに来た際に穴へ落ち、そこから泉が湧き出したという伝説からこの名前がつけました。

○御嶽神社と矢佐芝石丁場 (Mi8)

三竹の地名の由来になっている神社で、平安時代の建立と言われています。

鳥居杉とスダジイなどの社叢林は県の天然記念物に指定されています。また周辺地域には江戸時代初期に城の石垣に使うため石を切り出した石丁場があります。

南足柄市郷土資料館

開館時間 9:00~16:30

南足柄市広町 1544

電話 0465-73-4570

<http://http://www.city.minamiashigara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/kyoudo/>



ガイドさんと
ジオ旅に
行こう!



✓ 時間が無くても安心

おまかせください、ご希望の時間とリクエストに合わせ、いつもと違う(非日常)あなただけの実りあるジオサイトプランをご提案します。

✓ もっと知りたい!

あなたのまだ知らない「ところ・もの・こと」にきっと出会えます、わくわくしながら「いいね!」を一緒に見つけ、ふれあい・親しみ・楽しく学びましょう!

✓ 多彩なウォーキングコース

園児からご年配の方まで、季節ごとにあなたのお気に入りの居場所を探しながら、おいしい水と深呼吸を誘う自然豊かな足柄路をゆったり散策しましょう!



南足柄ジオガイドの会

〒250-0192 神奈川県南足柄市関本 440 (南足柄市役所内)

Tel: 0465 (73) 8001

<http://www.hakone-geopark.jp/area-guide/minamiashigara/>

箱根・小田原・真鶴・湯河原ガイド

案内
所



箱根観光ガイド協会(箱根町観光協会内).....	Tel: 0460 (85) 5443
箱根ボランティア解説員連絡会(箱根ビジターセンター).....	Tel: 0460 (84) 9981
NPO 法人 小田原ガイド協会.....	Tel: 0465 (22) 8800
真鶴観光ボランティアガイド(真鶴町観光協会内).....	Tel: 0465 (68) 2543
湯河原まちづくりボランティア協会(湯河原町役場内).....	Tel: 0465 (63) 2111

南足柄
Minami
ashigara

立ち寄りスポット

※祭、イベントの開催は、変更される場合があります。

ミナミ
アシガラ
カレンダー

1月 大雄山最乗寺初詣

2月 大雄山最乗寺豆まき
郷土資料館・森のひな祭り

3月 春めき桜まつり

5月 金太郎藤まつり
福沢神社祭礼

7月 夕日の滝びらき
足柄金太郎まつり

9月 足柄峠笛まつり
酔芙蓉まつり

11月 大雄町花咲く里山さる菊祭り